



# 間伐材でつくろう美しい森林 間伐推進強化期間



10月、11月は、間伐推進強化期間。

今年は温暖化防止対策に向けて

例年よりもさらに積極的な

間伐を進めようとしています。

期間中に行われる各種行事やキャンペーンを通して

間伐の必要性を改めて考えてみましょう。



森林整備シンポジウム2006 in しまね

木を愛い みんなで支える 森林づくり ～緑豊かな森林を未来に引き継ぐために～



# 間伐推進強化期間の 基本活動とこれまでの効果



## 間伐マーク

間伐材利用製品であることを表示する間伐材マーク。これを貼付することで、間伐や間伐材の重要性をアピールしています。マークの使用には、間伐材マーク認定委員会に審査・認定されることが必要です。

「間伐推進強化期間」は、間伐の本格的な実施時期。林野庁では、平成十二年度から間伐推進中央協議会や国、地域と連携し、間伐の普及啓発活動、間伐材の利用推進活動などの取組を行っています。

これまでの「緊急間伐5カ年対策」や「間伐等推進3カ年対策」により、徐々に効果が現れてきています。しかし、今年は「美しい森林づくり推進国民運動」という大きなフレームの下で、京都議定書における温室効果ガス削減目標達成のためより一層の間伐強化が求められています。

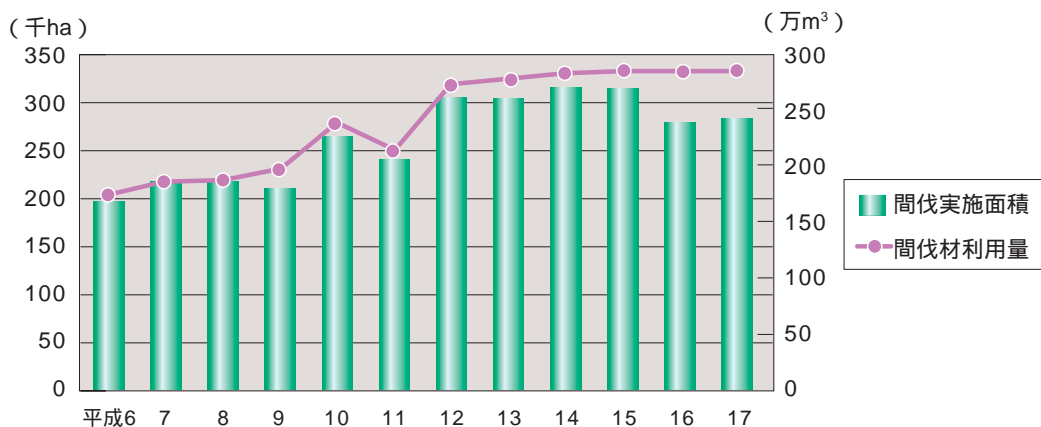
「美しい森林づくり推進国民運動」では、今年から二〇一二年の六年の間に、現在の育成林一四〇万ヘクタールのうち、奥地等を除いた間伐対象林の八割を、適切な森林にすることを目標としています。平成十二

年度から十六年度に実施された「緊急間伐5カ年対策」では、五カ年の合計で一五二万ヘクタールと、年平均三〇万ヘクタールの間伐が実施されました。「美しい森林づくり推進国民運動」の目標を達成するためには、国有林と民有林合わせて年五五万ヘクタール、「緊急間伐5カ年対策」の時に比べ、年間プラス二〇万ヘクタールの間伐が必要になります。四級から九級級の森林はもとより、十級級以上の森林も、間伐を進めていかなければならないのです。

このように、今、重要な課題となっている間伐。間伐推進強化期間中に、全国でさまざまな活動を行うほか、キャンペーンも予定しています。こうした取組は、国民の皆様

に間伐への理解を深めてもらう絶好の機会となることでしょう。

これまでの効果を示す、間伐実施面積及び間伐材利用量の推移



資料：林野庁業務資料



# 間伐推進強化期間 全国の取組

間伐に関するさまざまな  
行事や取組が全国で行われています。  
地域の行事・イベントに積極的に参加し  
森林整備に関する意識をさらに高めましょう。

森林所有者やボランティアが  
一体となって  
地域の間伐を行う「間伐大作戦」

秋田県



昨年は、多くの子どもたちが間伐体験を楽しみました

問 秋田県農林水産部 全国植樹祭推進室  
018-860-1751

平成二〇年六月十五日(日)に行われる「第59回全国植樹祭」開催地の秋田では、プレイベントの一環として「間伐大作戦」が実施されます。森林所有者や緑の少年団、森林ボランティア、また一般の個人や団体からボランティアを募集し、植樹祭の開催会場である北欧の杜公園やその周辺の間伐を行います。ノコギリによる秋田杉の間伐をはじめ、伐採された枝払いや玉切り、玉切りされた幹の運搬、集積など、間伐の作業を実際に体験することで、森林の役割や森林づくりの意識を高め、植樹祭開催会場の美化向上を図ることが目的です。十一月初旬実施予定。



手入れの遅れた森林を  
現地調査する  
「間伐パトロール」を実施

静岡県



昨年も実施された、間伐パトロール

問 静岡県建設部森林局森林整備室造林スタッフ 054-221-2670

静岡県では、平成九年度に県内四〇〇カ所を対象とした間伐の必要度に関する現地調査を行いました。この結果をもとに、平成十年度から十九年度を期間とする「静岡県間伐推進計画」を策定し、緊急に間伐が必要と推定した七万一千ヘクタールの人工林整備を進めることにしました。

平成十四年度から、県、市町村職員や森林組合職員などにより手入れの遅れた森林を調査する「間伐パトロール」を実施。参加者は現地で意見交換や情報提供を行うほか、後日森林所有者へ、積極的に間伐へ取組むよう働きかけを行っています。「間伐パトロール」の実施時期は、間伐推進強化期間を中心として翌年二月頃まで。

# 平成19年度に行われる キャンペーン

間伐推進強化期間には  
キャンペーンや各種行事が行われます。  
今年も、地球温暖化防止対策を  
念頭に置いた行事などが開催されます。  
これらに積極的に参加して  
間伐や間伐材利用の必要性を再確認してみたいでしょうか。

「森林整備シンポジウム 2007 in おおいた」開催

## シンポジウム



10月19日(金) 20日(土)の2日間、大分県別府市にて、間伐推進強化期間のメインとなるイベント「森林整備シンポジウム」が開催されます。事例発表などを交えながら、未来に向けた森林づくりの方策を検討・提案する予定です。また、19日のシンポジウムでは「間伐・間伐材利用コンクール」の表彰式も行われます。詳細は下記。写真は、昨年島根県で行われたシンポジウムの模様。

## 今年度、間伐推進キャンペーンを展開するイベント一覧

### 森林整備シンポジウム 2007 in おおいた

開催日：平成19年10月19日(金)～10月20日(土)  
開催場所：10月19日「シンポジウム」：大分県別府市ビーコンプラザ  
：10月20日「現地研修」  
シンポジウムテーマ：みんなの力で、未来に引き継ぐ美しい森林づくり～森林整備と木材利用で導く森林・林業の再生～  
開催内容：間伐推進強化期間のメインとなるイベントとして実施。  
主なプログラムは、基調講演(鹿児島大学教授 遠藤日雄氏) 事例発表((株)トライ・ウッド、池見林産工業(株)等の取組事例を発表) 間伐・間伐材利用コンクールの表彰、現地研修等です。  
その他：無料

### バイオマス総合展 2007

開催日時：平成19年10月24日(水)～26日(金)  
午前10時～午後5時(最終日のみ午後4時まで)  
場所：東京ビッグサイト 西3ホール  
主催：バイオマス総合展実行委員会  
内容：バイオマスを利用したビジネスに関連する技術や製品等の情報を一堂に集め、新たなビジネスの取組に向けた情報発信を行い、持続的な発展が可能なバイオマス社会の形成のために開催します。  
なお、全国森林組合連合会が、間伐の取組事例のパネルや間伐材製品の展示をします。  
その他：有料  
詳しくは、<http://www.emn.jp/biomass/> をご覧ください。

### 農林水産祭『実りのフェスティバル』

開催日時：平成19年11月2日(金)～3日(土) 10～17時  
会場：東京ビッグサイト 西3ホール及び屋上展示場  
内容：全国の郷土の特産物の販売のほか政府展示コーナー、天皇杯コーナーもあります。  
なお、全国森林組合連合会が、間伐の取組事例のパネルや間伐材を利用したアイデア製品を展示します。  
その他：無料

農林水産省本庁舎内  
「消費者の部屋」における展示

## 展示会



9月25日(火)から28日(金) 全国森林組合連合会の協力の下、農林水産省「消費者の部屋」で間伐材を利用したアイデア製品やパネルなどの展示が行われました。写真は、間伐材も用いた座イスなど。

「間伐・間伐材利用コンクール」の実施

## コンクール

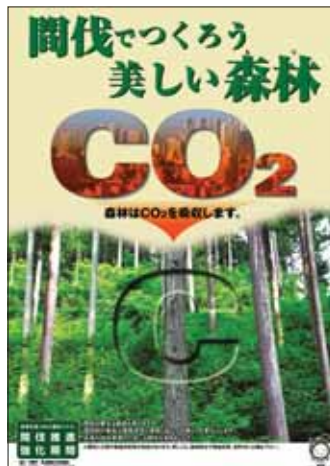


間伐を通じた森林の育成、間伐材利用に係る斬新で積極的な取組を普及するため、間伐・間伐材利用コンクールが実施されています。「林業事業者による森づくり」と「森林ポ

ランティア団体等による森づくり」、「暮らしに役立つ間伐材利用」の3つの部門で募集され、優秀な活動・作品は、10月19日(金)に行われる「森林整備シンポジウム 2007 in おおいた」で表彰されます。写真は、以前出展された、間伐材を用いたカバン。

間伐推進ポスターの展掲示

## ポスター



間伐推進強化期間には、全国に間伐推進ポスターが掲示され、間伐の必要性をPRします。今年のポスターでは、二酸化炭素吸収の役割を大きくうたっています。